

第9回では、まず、正副会長が作成した素案のたたき台をみんなで確認しました。その後、評価点と改善点のファーストインプレッションを一人ずつ発表しました。最後に、3つの論点を挙げ、全体トークを行いました。



さて、あんねとは、7月30日からスタート現在ステップ3も3回の議論を重ね9月6日に終わりました。ステップ2の分科会で抽出した皆さんの意見を基に、正副会長が「素案のたたき台」を作成し、これを基にみんなで検討し、意見を出しさらに良いものになりました。

みなさんこんにちは！
長かった夏が終わりましたね。今年の夏は本当に暑かったですが、その分余計に、秋の涼しい風がうれしいところではないでしょうか。

どんな素案になったかな？

ステップ3が終了！

安城市
市民参加条例と
協働に関する指針を考える
市民会議

第5号

第9回
2010.7.30

素案のたたき台が完成！
前回あんねと から約1ヶ月半空きましたが、その間にこれまでの検討内容を踏まえ作成された正副会長案を事務局&ファシリテーターも交え、練り上げました。



発行 / 安城市市民参加条例と協働に関する指針を考える市民会議
事務局 / 安城市 市民活動課
TEL(0566)71-2218 FAX(0566)76-1112
MAIL : katsudo@city.anjo.aichi.jp
HOME : http://www.city.anjo.aichi.jp/

「あんねと」とかわらばんへのご意見・ご感想をメール・電話・FAXで募集します。
どうぞお寄せください。お待ちしております。

素案のたたき台 ファーストインプレッション！「評価&改善カード」

もっと良くなる！！ 気になる点・改善点

< 3 . 市民参加の基本原則 ~ 子ども >
基本原則 3 - 2、青少年、子どもは 3 - 1 に含めてよいのでは。 / 子どもの参加をあえて書く必要はないのでは。(教育的な部分の充実を図るべき)

< 14 . 市民政策提案手続 ~ 人数も >
10人以上の市民の連署、もう少し多い方がよいのでは。 / 人数の議論が必要では。

< 19 . ボランティア >
市民ボランティアは協働? / 市民ボランティア = 市民参加? / コーディネーターは必要だと思う。ボランティアにこだわらなくてよいのでは。

< 7 . 市民参加の方法 ~ 参加の手続 >
市民参加の方法は少し細かすぎる。 / (4) ワークショップがわかりにくい。市民説明会と分ける必要があるのか。 / 参加方法は言葉ではなく内容を書く。

< 16 . 推進計画 >
公募委員は 1/3 以上に。1/5 は控えめすぎる。 / 推進計画がどのようになるのかわからない。 / 推進計画は形骸化する(数値に追われる)気がするのではないほうがいいです。

これはイイね！！ 手ごたえ・評価

< 3 . 市民参加の基本原則 ~ 子どもの参加がいいね >
子どもの参加が特出しされているのが良い 自治基本条例にも是非入れたかった。 / 20歳未満の青少年の参加機会を保障している点。

< 14 . 市民政策提案手続 >
賛成、10名以上を明記 / 市民政策提案手続は良いと思う。14 - 2 「ただし10人以上の市民」は少ないかな。個人の利益が絡みそう。

< 全体的によくまとまっている >
話あった内容が多くあったにもかかわらず、よくまとめていただいている。 / 自治基本条例の目的、提案に十分そって(なじんで)いると思います。

全体トーク「素案のたたき台~よりよくするために」

<p>論点 前文(案)を入れる? 入れない? 1回目旗上げ「入れる」7: 「入れない」15 『入れる』 理念をうたうべき / 読みやすいからよい / いれるとしたら3行で / 思いを入れられる 2回目旗上げ 赤(入れる)6: 青(入れない)16 市民会議の方針としては、「入れない」</p>	<p>論点 「市民参加推進計画」についての記述事項を入れる? 入れない? 条例で担保しよう / 形骸化してしまうという事は、民意のレベルの表れ / 条例に入れなくてもよいのでは。 / ビジョンが見えない。見えるといいな。 / 推進計画の度合いがわからない。</p>	<p>論点 「市民ボランティア」「ボランティアコーディネーター」についての記述を入れる? 入れない? 市民参加ってどういうものか、担保として入れたい。 / 「企画立案」だけでなく、「実施」にかかる市民参加もあるはず。協働だけではない。 / 「協働の指針」で検討すればよいのでは? / コーディネーターをボランティアにこだわる必要ない。 / コーディネートの機能は大事。</p>
---	--	--

裏面へ続く

ちょこっとコラム ~ 衣替え ~
夏が終わり、秋が近づいてきています。そんな季節の変化を感じる行事として、衣替えがありますね。日中は半袖でちょうどよくても、朝晩は肌寒く感じ、そろそろ衣替えか...なんて皆さん長袖を出したりしているのでは。調べてみると、衣替えは平安時代の宮中行事が発端らしいです。現代では、中高生の制服が目に見えて分かりやすいですね。気分が一新し気持ちいいものです。(大)





「1. 条例の目的」に、「まちの未来像の思い」を入れたいという意見が、皆で合意形成できるほどの明確なイメージが得られなかったため、入れないことになりました。

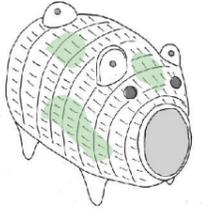
まず論点に対するみんなの思いの方向性を旗上げ方式で確認して、議論を深めていくというやり方で進めました。

この日の全体トークの論点は3つ。それぞれ白熱した議論が繰り広げられました。

トークの前に8/6(日)で開催された七夕まつりでのPI活動の報告がありました。(詳しい内容については、かわらばん号外をご覧ください！)

あねつとは「素案のたたき台」についての全体トークでした。

第10回 2010.8.18



全体トーク「素案のたたき台～よりよくするために」

論点 「3. 市民参加の基本原則」に、「満20歳未満の青少年及び子ども」や障がいのある方等を特別に記載するかどうか？

1回目旗上げ 赤(入れる)9: 青(入れない)8

『入れる』
これからの安城を支える子どもに是非参加してほしい。/色んな年齢、立場の人に参加してもらう為には、子ども、障がい者を特出しした方がよい。

『入れない』
「子ども」、「障がい者」、「未成年」も「全ての市民」に含まれる。条例としては不要では。/「あらゆる市民」とした方が公正・公平・平等。

2回目旗上げ 赤(入れる)5: 青(入れない)12 市民会議の結論としては、「入れない」

論点 「16. 推進・評価機関の設置」で「市民参加推進計画」について記載するか？記載するならば、その内容は具体的にどのようなものか？

1回目旗上げ 赤(入れる)3: 青(入れない)13

『入れる』
長期計画・実行計画に落とさないと実現しないのでは。戦略とビジョンが必要。/行政費用の負担を負ってでもやる価値あり。/市として、市民参加についてこうしたい、こうなるとよいという積極性が欲しい。

『入れない』
評価機関として年度毎のチェックで良い。/あまり長い計画で、みんながやれないでは意味がない。枠組だけ決めて、評価機関が働くようにすれば良い。/素朴にこの条例が推進計画になっていると言えないか。

2回目旗上げ 赤(入れる)1: 青(入れない)15 市民会議の結論としては、「入れない」

論点 - 1 「7. 市民参加の方法」で「市民政策提案制度」について記載するかどうか？(特出しするか？)

1回目旗上げ 赤(入れる)15: 青(入れない)2

『入れる』
入口を作っておくのは大切。どのように参加したらいいかわからない人が多い。/良い意見であれば、賛同を得られる。

『入れない』
執行機関が実際に運用できるか。手続があっても使われないのではないかと。/議論の時間が短く時期尚早では。先が見えない。

2回目旗上げ 赤(入れる)5: 青(入れない)12 市民会議の結論としては、「入れる」

論点 - 2 記載するならば、その内容は具体的に(人数・年齢等)どのようなものか？
50~100人/市民が気軽に出せる程度/全人口の1/500(安城市:全人口18万人 360人)/ボランティア団体の人数として、数十人。30~50人か。/高校生が10人集まって提案できるイメージ。/署名数と実質が違うのでは？提案の中身を分からず、署名してしまう恐れも。逆に条例で定める人数が多ければ多いほどそうなる危険性も高くなりそう。/人数はもう少し議論が要るか。



バズトークの風景

最後に全体で意見を共有しました。
この日の全体トークの論点は2つ。前回に引き続き、白熱した議論でした。
トークの後は、「市民参加編」のふりかえり&これからへの提言」と題してバズトークを行いました。二人(もつと、はるな)一組となつて、条例が施行された後、わたしたちで考えることは何だろうか？

あねつとは「素案のたたき台」についての全体トークでした。
トークの前に8/6(日)で開催された七夕まつりでのPI活動の報告がありました。(詳しい内容については、かわらばん号外をご覧ください！)

第11回 2010.9.6



全体トーク「素案のたたき台～よりよくするために」

バズトークからの提案
市長に提言する段階で、市民への啓発や議会との意見交換を行ってほしい。/安城市では、他市町と比べ市民参加ができています。この現状を後退しないように担保できたらよい。/入口は大きくつって、入りやすくしたい。/条例を市民に広げるためにビデオとか作ってがんばろう。/市民は条例そのものは読まないと思うので、敷居を低くし、広く伝えるためにはマンガ化等できたらよい。/農家の人たちに伝えていこうと思う。/推進計画がなくなると、年度計画がどのようにつくられていくのに関心がある。/推進機関を形骸化させないためには？難しい。

論点 「19. その他」で「市民ボランティア」(ボランティアコーディネーターも含む)について記載するかどうか？

1回目旗上げ 赤(入れる)6: 青(入れない)12

『入れる』
ボランティア活動の活性化の為には必要。/相談役としてのコーディネーターがいるとよい。/企画立案のみならず実施(DO)への市民参加もあるから記載したい。

『入れない』
参加の実施(DO)のためなら施設ボランティア等はむしろ古く限界があるのでは。/市民ボランティアは育成するものではなく、自然に湧いてくるものではないか。

2回目旗上げ 赤(入れる)4: 青(入れない)13

市民会議の結論としては「入れない」



論点 - 1 「5. 市の責務」で5-4市民の育成を記載するかどうか？

1回目旗上げ 赤(入れる)14: 青(入れない)4

『入れる』
入口を残すという意味で記載したい。/何かやりたいけど何をやらしたらいいかわからない人のために必要。

『入れない』
市民が自主的に参加するのがよい。「市民の育成に市が努める」は書きすぎ。/自主的に参加するのが市民参加。

1回目旗上げ 赤(入れる)18: 青(入れない)0 「入れる」

論点 - 2 「5. 市の責務」で5-4職員の育成を記載するかどうか？

1回目旗上げ 赤(入れる)5: 青(入れない)13

『入れる』
いずれにせよ、職員の仕事は変わらないので書いてもらっても構わない。/市民の立場からすると、職員の育成もやってほしい。

『入れない』
職員も市民に含まれるので、特出しする必要はない。/当然のことなので書く必要はない。

1回目旗上げ 赤(入れる)9: 青(入れない)9 市民会議の結論としては「合意得られず」議論が仲仲した経過を記載するにとどめる

ひとことアンケート
あねつと 皆さんのこの条例に対する情熱に驚かされました。/正副会長さんお疲れ様でした。もっと議論してよりよい条例素案を創り上げましょう。/各々論点になるところは同じだと感じた。/条例案が素晴らしくびっくりした。個人的にはもっとシンプルに分かりやすい条例としたいと思います。

あねつと 細部の検討に入ってきたため、とても白熱した議論となっており、有意義な時間でした。/条例を市民に落とし込むには、市民のエンパワーメントを高め、レベルを高めておく必要があることを痛切に感じた。その市民力の育成も視野に入れた条例にしていきたいと思う。/決定は難しい。自分の意見に白黒つけられない部分が多い。(勉強不足かな)

あねつと みなさんお疲れ様でした。市民参加で市民参加条例素案ができた事は素晴らしい事だと思います。/メンバーの思い、考え方が随分共有できた議論になったように感じます。お互いの意見を聞きながら、自分の考え方をまとめていく、附加していくような方法を見つけていった気がします。/これまでの積み重ねでしっかりした内容となってよかった。